

本科 1 期 4 月度 1 回目

Z 会東大進学教室 / Z 会京大進学教室 【体験授業用教材（抜粋版）】

高 2 東大 国語

高 2 東大・京大 国語



目次

はじめに	3
1章 問題(演習)	6
問題(自習)	8
2章 問題(演習)	10
問題(自習)	14
3章 添削課題	18
問題(自習)	22
4章 問題(演習)	26
問題(自習)	28
5章 問題(演習)	32
問題(自習)	34
6章 問題(演習)	36
問題(自習)	38
7章 添削課題	40
問題(自習)	42
8章 問題(演習)	44
問題(自習)	48
9章 問題(演習)	50
問題(自習)	54
『発心集』	6
『発心集』	8
『徒然草』	10
『徒然草』	14
『大和物語』	18
『大和物語』	22
『玉堂叢話』	26
『稽神録』	28
『説苑』	32
『韓非子』	34
『呂氏春秋』	36
『日諭』	38
『履園叢話』	40
『古文真宝』	42
丸山眞男『日本の思想』	44
大庭みな子『女の男性論』	48
長谷川眞理子『ラップトップ抱えた「石器人」』	50
福田歓一の文章	54

10章	問題（演習）	外山滋比古の文章……………	56
	問題（自習）	小林秀雄「金閣焼亡」……………	62
11章	添削課題	山内昶の文章……………	66
	問題（自習）	寺田寅彦「科学者とあたま」……………	72
12章	問題（演習）	『平家物語』……………	76
	問題（自習）	『平家物語』……………	78
13章	問題（演習）	『伊勢物語』……………	80
	問題（自習）	『伊勢物語』……………	82
付録	古文活用一覧	……………	84

Ⅰ Z会の教室 国語の指導方針

国語で安定した得点をとるためには、問題文の主題をとらえて正確に文章構造を見抜く読解力と、読解の結果を「解答」として採点者に正しく伝える言語運用能力を鍛える必要があります。

こうした学力の養成に向けて、国語科では「量」ではなく「質」を重視するというZ会の指導理念に則った指導を行います。むやみに多くの文章を読み流し、ひたすら多くの設問を解くのではなく、一つの文章にじっくりと取り組み、詳細な解説講義を行います。単にその問題をどう解くか、という観点にとどまらず、「同じテーマ・ジャンルの文章にはどのような対処するか」「このタイプの設問にはこうアプローチしていく」といった、他の問題にも応用可能な「考え方」を習得していくことを重視します。これにより、いかなる問題文が出題されても読解・解答できる力を養成します。

Ⅱ 授業について

授業では「問題（演習）」もしくは「添削課題」を扱います。

「問題（自習）」は授業では扱わない、自習用の教材です。

予習

具体的な予習の方法は、受講開始後に担当講師から指示があります。以下は初めてZ会の国語の授業を受ける方への、初回授業の予習の目安です。まずは文章全体を通読し、中心となるテーマや物語の展開について、大まかな内容を把握します。次にもう一度じっくりと読み通し、より精密に文章の内容を把握していきます。この段階では、必要な箇所では辞書を丁寧に引いて、じっくりと一文一文の内容理解に努めます。最後まで読み通すことができたら、さらにもう一度文章を通読し、議論や物語の展開がしっかりと頭に入ってきているかを確認しましょう。

設問に関しては、あらかじめ完全に解答を作成してくる必要はありません。ただし、可能な範囲で、自分なりに選択肢を選び、また記述解答の骨格を作成してみるとよいでしょう。

※映像授業をご受講の皆様

授業時間内に演習（問題文を読み、設問を解くこと）に取り組むため、原則として予習は不要です。ただし、授業の内容をより効果的に理解するために、事前に問題文に目を通しておくとよい場合があります。

- ・映像で問題演習の指示が出たら、映像を停止して問題に取り組みましょう。
- ・映像をご受講いただく前に、各講座のオリエンテーション映像をご覧ください。

授業内

解説授業を行います。「量」よりも「質」を重視しますので、授業では原則大問一題のみを扱います。問題文の丁寧な読解を通して、語彙の増強・論理構造の把握・文章の背景知識の伝授など、密度の濃い授業を行います。設問の解説では、問題文の正確な内容理解を土台に、選択式・記述式それぞれの設問についての正答に至るための考え方を確認していきます。選択式の問題では、どのように正解の選択肢を見極めていくか、記述式の問題では、設問の要求を見極めて解答を作成する手順を確認していきます。表現の細部にまで徹底的にこだわり、指定字数の長短に応じて、日本語として完結した正確な表現をまとめる訓練をします。

復習

まずは当日のうちに、授業での学習内容を振り返りながら、問題文をもう一度読み直しましょう。現代文では、文章の内容だけでなく、対比や例示といった「論理展開」も十分に意識しながら読み直しましょう。古文・漢文では、一つ一つの文について、意味の分からない語句が残っていないか、また文法的に理解があやふやなところがないかを確認しながら読み進めます。問題文を何度も音読してみるのが効果的です。

設問については、「なぜそれが正解になるのか」「なぜこのような解答になるのか」を、他人にも説明できるくらいまで、解答に至る筋道を、本文中に根拠を求めながらも一度確認しましょう。

授業で習得した読解・解答の方法を確認するため、自習用問題である「問題（自習）」にも取り組んでみましょう。

三 テキストの構成

● 問題（演習）

授業で扱う問題です。

● 添削課題

授業で扱う問題です。

添削課題の取り組み方については、スタッフ・講師からの指示もしくは受講マニュアルに従ってください。

● 問題（自習）

自宅学習用の問題です。原則として授業では扱いません。

● 付録

古典分野の読解に必要な基礎知識を整理しています。

● 問題のレベルについて

問題のレベルを★の個数によって三段階で表します。

★…基礎

★★…標準

★★★…応用（発展）

なお、特別問題は選抜講座専用問題です。

次の文章を読んで、後の設問に答えよ。

* 山に、えいじつあじやうり歡笑阿闍梨といひて貴き人ありけり。帝の御悩み重くおはしましけるころ、⁽¹⁾召しければ、たびたび辞し申しけれど、重ねたる仰せいなびがたくて、⁽²⁾なまじひにまかりける道に、あやしげなる病人の、足手もかなはずして、ある所の築地ついでちのつらつらにつらひらがり伏せるありけり。阿闍梨これを見て、悲しみの涙を流しつつ車よりおりて、あはれみ訪まをふ。豊求めて敷かせ、上に飯屋さしおほひ、食ひ物求め、あつかふほどに、まま久しくなりにけり。勅使、「日暮れぬべし。いといといと使つかなき事なり」といひければ、⁽³⁾「参るまじき。⁽⁴⁾かく、その由を申せ」といふ。

御使驚きてゆゑを問ふ。阿闍梨いふやう、「世を厭いとひて心を仏道に任せしより、帝の御事とてもあながちに貴からず。かかる乞食こじきとてもまた⁽⁵⁾おろかならず。ただ同じやうに覚ゆるなり。それにとりて、君の御祈りのためしほし験あらん僧を召さんには、山々寺々に多かる人、誰かは参らざらん。更に事欠くまじ。この病者に至りては、厭いとひきたなむ人のみありて、近づきあつかふ人はあるべからず。もし⁽⁶⁾我捨てて去りなば、ほとほと命も尽きぬべし」とて、彼をのみあはれみ助くる間に、つひに参らずなりにければ、時の人ありがたき事になんいひける。

* 山 〓 比叡山。
* つら 〓 ほとり。
* ひらがりがり 〓 体を平らにして。

問1 傍線部(1)について、「召し」たのは何のためか。

問2 傍線部(2)・(3)の解釈として最も適当なものを、次の中からそれぞれ一つずつ選べ。

- (2) (ア) 強引に (イ) いやいやながら (ウ) よせばよいのに
(エ) なま返事をして (オ) できもしないのに
- (3) (ア) 心細い事だ (イ) 不都合な事だ (ウ) かわいそうな事だ
(エ) 身よりのない事だ (オ) あてにならない事だ

問3 傍線部(4)の「かく」とはどういうことをさしているか。句読点とも三十字以内で答えよ。

問4 傍線部(5)を、句読点とも十五字以内で現代語訳せよ。

問5 傍線部(6)を単語に分け、各語の品詞名を記せ。

問6 本文に描かれた事件において、二つの価値観が対立しているのが見られる。両者の相違が明らかになるように留意しつつ、「第一の価値観」と「第二の価値観」の内容をそれぞれ句読点とも二十字以内で記せ。

体験授業をご受講いただく皆さんへ

体験授業をお申し込みいただきありがとうございます。

Z会の教室の授業は、学力を効果的に上げていくためのカリキュラム・内容となっております。次回以降もぜひ継続して受講することをおすすめします。

《体験授業後の流れ》

お申し込み方法

引き続き継続して受講される場合は、各教室窓口・お電話でお申し込みが可能です。
※体験授業終了直後に窓口で申し込んでお帰りになることもできます。
※認定が必要な講座をご希望の方はテストを受験していただく場合があります。
※予習が必要な講座は次回までの予習がありますので、余裕を持ってお申し込みください。
※本科授業は、「クラス授業」「映像授業」が選べます。
※映像授業の体験も承ります。一部の講座では映像授業のご用意がありません。予めご了承ください。

通話料 無料 **0120-2828-76** 月曜日～土曜日 12:00～20:00
(休室日を除く)

各教室電話番号	御茶ノ水教室 03-5296-2828	池袋教室 03-5985-2828
月曜日～土曜日 14:00～21:00 (休室日を除く)	渋谷教室 03-5774-2828	横浜教室 045-313-2828
	新宿教室 03-5304-2828	葛西教室 03-5878-0844

お申し込み後の流れ

お申し込みから1週間以内に手続書類(入会書類、お支払いについて、会員証など)をお送りします。

※受講料のお支払い期日が次回授業よりも後の場合でも、次回授業へのご参加が可能です。
※体験授業後にご受講いただく場合、「Z会の教室」では「月度」単位で受講料を請求させていただいているため、体験授業分も受講料をご請求する場合があります。くわしくは教室スタッフまでお問い合わせください。

お申し込み後、テキストを各教室窓口にてお受け取りください。

※葛西教室にて高1・高2講座・受験講座、Z会進学教室大学受験部立川教室にて高1・高2・受験生講座を開講しております。

講座選択に迷ったら…

学習相談は随時承っています。お電話でのご相談も可能です。

受講に際して不明点、不安な点がある方は、各教室の窓口、または上記番号までお気軽にお問い合わせください。

Z会の教室の受講サポート — 万全のシステムで効果的な学習をサポートします —

1. 講師への質問

授業前後の時間や休み時間を利用して、担当講師に直接質問をすることができます。疑問点をそのままにすることなく、その場で解消することができます。

2. 振替受講

本科のクラス授業で欠席する回の授業を、同一週・同一講座の他のクラスで振替受講することができます。他教室への振替、映像授業(教室・自宅での受講)への振替も可能です。前日までに各教室窓口、お電話にてお申し出下さい。

※振替手続は一週前の月曜から可能です。

3. 進路・学習・入試相談

各教室の学習アドバイザーが皆さんのご相談を随時承っています。

4. 自習室

本科生の方は休室日を除いて、全教室の自習室をいつでもご利用いただけます。